



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251

教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

人のために、誰かのために、自分にできること

校長 白石 徳一郎

昇降口前にある梅の蕾がふくらみ、春が近づいていることを感じます。今年度の創立50周年記念樹として、梅の隣に河津桜を植樹しました。河津桜はソメイヨシノよりも早く開花すると思いますので、これからが楽しみです。

さて、1月12日(日)には上小町自治会様による「新年餅つき大会」が開催されました。自治会の皆様、桜木中学校の生徒さん達により、あんこ、きなこ、みぞれなどのおいしいお餅がたくさん用意され、来場者の方々に振舞われました。たくさん子ども達が餅つきを体験し、いい思い出になったようです。子どもたちのために、地域の皆様に、このような季節の行事を開催していただき、感謝申し上げます。

▶地域の皆様に感謝の気持ちを

地域には、自治会の皆様、青少年育成会の皆様、社会福祉協議会の皆様、民生委員児童委員・主任児童委員の皆様、交通指導員や交通安全協会の皆様、防犯ボランティアの皆様、体育振興会の皆様など、地域のために力を尽くされていらっしゃる方々がたくさんおられます。子ども達が安心して安全に登下校できておりますのも、ボランティアの皆様が毎日、見守ってくださっているお陰です。ありがとうございます。

子ども達にできることは、感謝の気持ちをこめて、あいさつをすることでしょう。「おはようございます」だけでなく、下校時などは「いつもありがとうございます」というあいさつができるといいと思います。ご家庭でもお話いただけたらと存じます。そして、いつの日か、子ども達にも、地域に貢献できる人になってもらえたら嬉しく思います。

▶人のために、誰かのために、自分にできることを

昭和の時代、「一日一善」というコマーシャルがありました。近年では、大谷翔平選手が球場でごみを拾う姿が話題になりました。人のために、誰かのために、進んでよい行いをするという心がけは大切だと思います。ある児童は、給食の片付けの時に、片手を怪我した友達の食器を片付けるのを手伝っていました。登校して下校するまでに、一人ひとりが、誰かのためによいことをすることを心がけるとよいと思います。そして、放課後や休みの日にも、進んでよい行いをする習慣ができると素晴らしいと思います。

11月26日(火)に6年生が盲導犬ユーザーの井出茂樹氏に福祉についてお話をいただきました。視覚障害者には視野が一部しかない人や、視界が白濁していてよく見えない人など、様々な人がいること、視覚障害者の方が一番助かるのは、困っている時に「お困りですか?」「何かお手伝いできることはありますか?」と声をかけてもらうことだということなどを教えてもらいました。声をかけることは私たちにもすぐにできます。下のイラストは埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティア・市民活動センターが発行している福祉教育啓発パンフレットの一部ですが、困っている人がいたら進んで声をかけ、行動できるように、日頃から意識して生活できるといいと思います。

▶ブルーリボン運動へのご協力のお礼

11月から12月にかけて、ブルーリボン運動を紹介し募金を行いました。50人の児童、教職員から25,650円の募金をお預かりし、ブルーリボンバッジをお渡ししました。募金は「北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会(救う会埼玉)」代表 竹本様にお届けしました。ありがとうございました。

